

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
102-80	高等学校	国語	言語文化	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
2 東書	言文 701	新編言語文化		

1.編修の基本方針

① 社会人として求められる言語能力を身につけるとともに、言語文化に対する関心と理解を深める。

- 各単元扉に、その単元での学習目標と、学習する作品や教材に関連した年表、学習する内容に関連した解説を示すとともに、現代文編では、教材ごとに学習する主な目標も示しました(詩歌単元を除く)。また、「発問」や「学習の手引き」において、学習が効果的に行えるようなポイントを示しました。
- 教科書冒頭には、上代から現代に至る言語文化の継承と発展を示す「言語文化の見取り図」と、作品のテーマや観点に時代を超えたつながりがあることを示す「響きあう言語文化」を用意し、それぞれ教材との関連を持たせました。
- 現代文編では5単元、古文編では5単元、漢文編では4単元を用意し、言語文化に対する関心と理解を深めることができる教材を、時代やジャンルのバランスに配慮して掲載しました。また、古文編と漢文編の間には「文体の変遷」を用意し、上代から近代に至るまでの日本語の文体の変化に触れることができるようにしました。

② 論理的思考力や深く共感したり豊かに想像したりする力、伝え合い、自分の考えを形成する力を高める。

- 展開を捉えて内容を理解するのに適した小説教材や随筆教材を用意しました。また、想像力や表現力を養えるよう、筆者の豊かな感性が表れた詩歌教材や随筆教材を配置しました。
- 漢文編では『論語』の注釈を読む』を用意し、日本における『論語』受容の歴史を知るとともに、中国や日本の学者の『論語』解釈に触れることで自らも解釈を試み、自分の意見を持つことができるようにしました。
- コラム形式または手引き形式の「言語活動」を、その活動に関連のある作品・教材等の近くに設け、「書く」「読む」能力を有機的かつ効果的に高めることができるようにしました。また、グループ活動を視野に入れたものを豊富に設定することで、伝え合う力を高められるようにしました。

③ 教材本文とコラム・附録等との関連を図り、多様な学習に対応できるようにする。

- 現代文編では「小説の読み方」、「短歌の読み方」、「俳句の読み方」、「詩の読み方」を設け、それぞれの教材のジャンルに対応した読解の仕方を、教材本文も例に挙げながら、分かりやすく示しました。また、各コラム末にブックガイドを設け、ジャンルやテーマに関連した図書を紹介し、読書に親しめるよう工夫しました。
- 現代文編では「現代文の窓」(1か所)、古文編では「古文の窓」(5か所)、漢文編では「漢文の窓」(3か所)をそれぞれ設け、単元や教材で学習した内容を深めたり広げたりできるようにしました。
- 古文編では「古文学習のしるべ」(6か所)を設け、古文に関する基本的知識や文法事項を、読むことの学習に即して身につけられるようにしました。
- 附録には、豊富な資料を用意し、多様な学習に対応できるようにしました。「読書案内」では、掲載作品や作者等に関連した図書を取り上げ、読書への関心が高まるようにしました。「用言活用表」「文語助動詞活用表」「文語助詞一覧表」「古文重要語句」「漢文句法・重要語のまとめ」「年表」「古典参考図録」では、教材本文と有機的に関連させて学習ができるようにしました。また、学習の見通しや振り返りに生かせるように、「この教科書で学ぶこと」を用意しました。

2.対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所	
現代文編	1 随筆	・桜に対する日本人とヨーロッパの人の感性の違いを通じて、日本人にとって桜が格別な存在であることを述べる随筆を用意しました。(第5号)	→10～15ページ
	2 小説1	・登場人物の会話や行動の描写を通じて、親子の情愛、人と人との心の触れ合いを感じ取ることができる小説を用意しました。(第1号)	→24～35ページ
	3 詩歌	・近現代の代表的歌人・俳人の作品など、伝統的な定型詩を理解し、味わうことができる教材を用意しました。(第1号)(第5号) ・「冬が来た」「I was born」など高校生の情操を培うのにふさわしい詩を用意しました。(第1号)	→50～52ページ、 54～56ページ →58～65ページ
	4 小説2	・極限状態にある人間が、正義と悪の間を揺れ動く様子を通じて、正義とは何か、勇気とは何かについて考える小説を用意しました。(第3号)	→72～87ページ
	5 小説3	・愛情を注いできたペットを亡くし、深い悲しみに暮れていた主人公が、突然現れた不思議な少年と一日を過ごすことで癒され、悲しみを克服する小説を用意しました。(第1号)	→107～116ページ
古文編	1 古文入門	・伝統的な言語文化を理解するための基礎となる、文語のきまりを解説したコラムを用意しました。(第5号) ・登場人物の言動を通して、個人を尊重し、能力を伸ばすことについて考えることのできる教材を用意しました。(第2号)	→124～125、128 ～129、134～136 ページ →126～127ページ
	2 随筆	・普遍的真理や処世訓などについて述べた教材を用意しました。(第1号) ・作者の美意識と的確な表現に触れ、豊かな情操を培うことができる教材を用意しました。(第1号)	→138～145ページ →146～147ページ
	3 詩歌	・人々に親しまれてきた詩歌を味わい、ものの見方・感じ方の伝統を理解することができる教材を用意しました。(第5号) ・伝統的技法である「本歌取り」を用いて実際に短歌を作る「言語活動」を用意しました。(第5号)	→154～163ページ →167～168ページ
	4 物語	・平安時代の習俗について、知識が深められるコラムを用意しました。(第1号) ・戦場での登場人物の言動から、他者を思いやる心について考えることのできる教材を用意しました。(第3号)	→178ページ →179～185ページ
	5 紀行	・自然の景観と人間の営みについて描いた教材を用意しました。(第4号)	→190～195ページ
	文体の変遷	・文体の変遷について考えることができる教材を用意しました。(第5号)	→203～208ページ
漢文編	1 漢文入門	・熟語や人口に膾炙した格言などを通じて、訓読のきまりや日本における漢文の受容について知ることのできる「訓読の基本」を用意しました。(第5号) ・漢字の読みと意味の関係を理解することで、漢字に親しみ語彙力を高めることのできる「言語活動」を用意しました。(第5号)	→210～218ページ →218～219ページ
	2 漢詩	・自然の雄大さや季節の情景に触れた漢詩を用意しました。(第4号) ・漢詩が日本の文芸に与えた影響を示す訳詩や、「参考」、「漢詩と日本文学」を用意しました。(第5号)	→228～229ページ →228、231、234、 235ページ
	3 論語	・学問の重要性、人を思いやる心、社会に対する態度について考えることができる教材を用意しました。(第1号)(第2号)(第3号) ・日本における漢文受容の歴史を知るとともに、根拠に基づいて自らの考えを形成する態度を養う教材を用意しました。(第1号)(第5号)	→238～241ページ →242～245ページ
	4 史話	・他者を思いやることの尊さについて考えることができる教材を用意しました。(第3号)	→250～251ページ

3.上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- 中学校までの学習内容とのつながりを図りやすくするため、教材の採録箇所を工夫しました。(学校教育法第51条1号)